資料⑦

# 第４次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画

【令和８年度～令和１２年度】

# 実施目標計画 進行管理シート




だれもがワンボラ運動　マスコット
～つぼみちゃん～

令和８年度第１回　防府市地域福祉推進協議会

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 1 | (1) | 実施目標　No. | 1 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 1　福祉意識の醸成 |
| 実施目標 | (1) こどもからはじめる福祉教育の推進 |
| 実施目標計画 | 福祉教育の実施、福祉体験等によるボランティア学習等の実施 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 福祉に関する広報や啓発活動を充実させ、こどもから大人までのあらゆる世代を対象とした福祉教育の展開を図り、地域に暮らす社会的に弱い立場の方も地域社会の大切な一員として尊重される福祉意識の醸成に取り組む。 |
| 主な関係事業・取組 | ①総合的な学習の時間等における福祉学習の実施【学校教育課】<br>②ボランティアセンター事業【市社会福祉協議会】<br>③共同募金配分金事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 福祉教育(福祉体験)実施校数、地域の参加人数 | 小学校8校　103人 | 小学校13校　160人 | 小学校56校　692人 | 子どもから大人までのあらゆる世代を対象としたボランティア活動プログラムを継続して提案する必要があります。<br>また、現在の取組みをさらに広げていくために、報道機関や広報紙等を活用し周知していく必要があります。 |
| 福祉教育(ボランティア体験ゲストティーチャー派遣)実施校数 | 小学校7校 | 小学校9校 | 小学校44校 | |
| 夏休み親子福祉体験教室　参加人数 | 27人 | 24人 | 125人 | |
| 介護人材確保対策事業　特別講義の実施回数 | ― | 小学校22回 | 小学校22回 | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 小学校、地区社会福祉協議会、福祉関係団体等が連携して福祉教育の企画・実施に取り組みます。<br><br>共同募金配分事業を活用し、福祉体験等によるボランティア学習プログラムの企画・実施に取り組みます。 | ・福祉教育(年間)<br>実施校数　13校<br>参加者数　160人<br><br>・夏休み親子福祉体験教室(年間)<br>参加者数　20名 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 1 | (2) | 実施目標　No. | 2 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 1　福祉意識の醸成 |
| 実施目標 | (2) 福祉活動への参加促進 |
| 実施目標計画 | 福祉活動参加への啓発となる地域福祉に関する情報提供、講座の実施 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域での交流を促進し、住民がお互いを理解する中で、他人事になりがちな地域づくりを我が事としてとらえることで、地域における支え合いや助け合いの大切さについて理解を深め、住民の参画意識の醸成を図る取組を行う。<br>誰もが同じ地域社会の一員として尊重される社会の実現を目指し、支え手側と受け手側に分かれることなく、福祉サービスを必要とする方も含め様々な人に啓発活動を行い、福祉活動への参加を促進する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①聞いて得するふるさと講座（通称 出前講座）等、セミナー・講座の実施<br>【くらし安全課、福祉総務課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課、こども相談支援課、<br>健康増進課、生涯学習課】<br>②地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 聞いて得するふるさと講座　実施回数、参加人数 | 6回　141人 | 21回　533人 | 57回　1,615人 | 出前講座について、より多くの市民に活用してもらえるよう、さらなる周知と新規メニューの検討を引き続き行っていくと共に、各関係機関等の連携強化を図り、継続的に講座を実施していくことが必要です。<br>ゲートキーパーについて、今後も認知度を高め、より多くの市民に知識を普及するよう養成講座を開催したり、SNSを活用したりして知識の普及啓発に努める必要があります。<br>また、福祉活動への参加促進を図るため、包括的な地域支援・関係づくりの充実と、活動の段階に合わせた啓発を行う必要があります。 |
| ゲートキーパー養成講座　実施回数、参加人数 | 3回　63人 | 4回94人 | 21回425人 | |
| 地区社協研修会　実施回数、参加人数 | 7回　327人 | 15回　681人 | 62回　2,933人 | |
| | | | | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 広報誌やホームページ、SNS等を活用し、地域福祉活動やボランティア活動の紹介、活動事例の発信を行うことで、市民の地域福祉に対する理解促進と参加意識の醸成を図ります。<br><br>聞いて得するふるさと講座(通称出前講座)の実施や福祉に関する講座等を開催します。<br><br>出前講座や各種セミナーの実施及び内容の充実を図り、地域共生社会の理念や支え合いの重要性について普及啓発を行うとともに、福祉活動への参加を促進します。 | ・ゲートキーパーについて聞いたことがある人の割合<br>(R8現状値)21.8%<br>↓<br>(R17)増加させる<br><br>・情報SNS発信件数(年間)<br>36回(R8.7月～)<br><br>・地区社協研修会(年間)<br>開講回数　15回<br>受講者数　600人 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 1 | (3) | 実施目標　No. | 3 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 1　福祉意識の醸成 |
| 実施目標 | (3)　ユニバーサルデザインとバリアフリーの普及啓発 |
| 実施目標計画 | ユニバーサルデザインの考え方や情報の提供<br>公共施設のバリアフリー化や心のバリアフリーの推進 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 誰もが暮らしやすい地域社会を目指し、ユニバーサルデザインの考え方や情報の提供、施設のバリアフリー化や心のバリアフリーを推進するための普及啓発を進める。 |
| 主な関係事業・取組 | ①公共施設・設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進【福祉総務課 高齢福祉課 障害福祉課 子育て推進課 こども相談支援課 建築課 教育総務課 生涯学習課】<br>②地区公共用施設補助金【地域振興課】<br>③ヘルプマークやサポートマーク、「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度」の周知、盲導犬、介助犬、聴導犬への理解促進【障害福祉課】<br>④ボランティアセンター事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 全小中学校のトイレの洋式化 | ー | ー | 全小中学校で完了 | 既存建物の改修においては、段差解消のためのスロープ設置等、バリアフリーにするために必要なスペースの確保が困難な場合があり、それらを解決するためには大規模な改修を伴います。特に教育施設では、児童生徒受け入れまで迅速な対応が求められる中で、騒音対策を行いながらの改修は困難を極めるため、計画的に進める必要があります。<br>地区共用施設については、地域からの要望に寄り添いながら、伴走的な支援が求められます。<br>ヘルプマークやサポートマーク、「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度」については、より広く広報に努めることが必要です。目的を理解し、正しく使用してもらえるよう周知することも必要です。 |
| 地区公共用施設補助金制度を活用したバリアフリー化 | 6件 | 0件 | 12件 | |
| ボランティア入門講座 | 11人 | 5人 | 47人 | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ユニバーサルデザインやバリアフリーの必要性を理解してもらうため、ガイドヘルプ等の福祉体験会を実施します。<br><br>公共施設等の計画的なバリアフリー化を推進するとともに、地区公共用施設補助金制度の活用を通じて、地域におけるバリアフリー環境の整備を促進します。<br><br>ヘルプマークやサポートマーク、「やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度」等の周知・普及啓発を行い、障害のある人等への理解促進と配慮のある地域づくりを推進します。<br><br>盲導犬、介助犬、聴導犬等の補助犬に対する理解促進を図り、受入れへの配慮や共生社会の実現に向けた啓発に取り組みます。<br><br>広報誌やホームページ、講演会等を通じて、ユニバーサルデザイン及び心のバリアフリーに関する普及啓発を行い、誰もが暮らしやすい地域社会づくりに向けた意識の醸成を図ります。 | 地区公共施設のバリアフリー補助(5年総数)<br>10件<br><br>ボランティア入門講座<br>開講回数　1回<br>受講者数　10人 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 2 | (1) | 実施目標　No. | 4 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 2　福祉の人材育成の推進 |
| 実施目標 | (1)　地域福祉活動の人材発掘と養成 |
| 実施目標計画 | 地域の研修会や地域福祉推進セミナーの開催等を通した地域福祉活動の担い手の発掘・育成 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域福祉活動の担い手不足を解消するため、新たな担い手の発掘や養成を行う。<br>福祉課題を抱えた人も、地域社会の一員として尊重され、地域の担い手の一人として参加できる仕組みづくりに取り組む。<br>拡大、多様化する福祉・介護ニーズに対応できるよう、県や県社会福祉協議会及び関係機関・団体等と連携を図る。 |
| 主な関係事業・取組 | ①地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 地域における課題が、児童、障害、高齢、ひとり親、引きこもり等多岐に渡るため、その時の地域の課題に合ったテーマで継続的にセミナーを行うことが必要です。<br>幅広い福祉の担い手を育成するため、専門機関、生活関連事業所等への周知も必要です。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価 評価の理由 | 評価 総合評価 | 評価 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 複雑化・多様化する地域生活課題に対して、個人や組織が持つ強みを活かし、様々な連携・協働を図りながら、地域でどのような支援づくりを展開していくことができるのか、地域の様々な関係者が取組を理解し、それぞれの役割を考えることで福祉の輪づくり運動の担い手養成を目的とした地域福祉推進セミナーを開催します。<br><br>地域の福祉関係者だけでなく、専門機関、生活関連事業所にも周知し実践の強化を図ります。<br><br>県、県社会福祉協議会及び関係機関・団体との連携し、地域福祉を支える人材の確保・育成に取り組みます。 | 地域福祉推進セミナー<br>(年間)<br>開催回数　1回<br>参加人数　60人<br>参加機関数　2企業 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 2 | (2) |
|---|---|---|---|

| 実施目標　No. | 5 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 2　福祉の人材育成の推進 |
| 実施目標 | (2)　地域福祉の担い手の活動支援 |
| 実施目標計画 | 地域で活動する民生委員・児童委員や福祉員、友愛訪問グループ員等の活動の周知と支援 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域福祉の推進役である地域活動のリーダーやコーディネーター等の活動をサポートすることで、自主的な地域福祉活動の底上げを図り、地域福祉を推進する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①民生委員児童委員関係事業【福祉総務課】<br>②民生委員児童委員協議会事業【市社会福祉協議会】<br>③地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 福祉の輪づくり運動に向けた研修会　実施回数 | 11回 | 15回 | 66回 | 民生委員・児童委員協議会の各部会による主体的な運営が継続されることが大切だと考えます。地域における福祉活動の中心となる民生委員が必要な知識を得るため、引き続き研修会への参加要請を行っていきます。<br>今後も連携を図るために、研修会開催時に他機関の参加を考慮します。 |
| 民生委員研修会 | 19回 | 36回 | 173回 | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 民生委員・児童委員の円滑な活動を支援するため、各種研修会への参加を促進するとともに、その活動内容や役割について広く周知し、地域における理解の促進を図ります。<br><br>福祉員や友愛訪問グループ員等の地域福祉活動の担い手に対し、地域の研修会等を通じて活動に資する情報提供や講演を行い、活動の充実を支援します。<br><br>各地域で実施される福祉研修会や養成講座の開催を支援するとともに、地域ごとの福祉活動の状況や課題の把握に努め、小地域福祉活動計画を活かした主体的な地域福祉活動の推進につなげます。<br><br>地域福祉活動のリーダーやコーディネーター等との連携を強化し、地域の実情に応じた活動支援や情報共有を行うことで、自主的な地域福祉活動の活性化を図ります。 | ・民生委員部会研修(年間)<br>①高齢者福祉部会<br>実施回数　1回<br>参加人数　80名<br>②障がい者福祉部会<br>実施回数　1回<br>参加人数　80名<br>③児童福祉部会<br>実施回数　1回<br>参加人数　70名<br><br>・地区社協研修会(年間)<br>参加回数　15回<br>参加人数　600人 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 2 | (3) |
|---|---|---|---|

| 実施目標　No. | 6 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 2　福祉の人材育成の推進 |
| 実施目標 | (3)　福祉サービス提供者の育成と確保 |
| 実施目標計画 | 福祉サービス提供者の育成のための研修会や情報交換会の実施 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 多様化する市民のニーズに効果的・効率的に対応するため、住民相互が支え合う地域社会を目指し、様々なサービスについて民間活力の導入等を進める。 |
| 主な関係事業・取組 | ①介護支援専門員研修会・情報交換会【高齢福祉課】<br>②防府市地域総合支援協議会【障害福祉課】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 市地域総合支援協議会研修会の実施回数 | 1回 | 1回 | 5回 | 引き続き、各福祉サービス従事者の質の向上に向けて研修会等を開催し、意見交換と連携を図っていく必要があります。<br>多くの関係機関から実務者に参加していただけるように、周知を図るとともに、研修内容等を再検証し、より効果的な研修となるように努める必要があります。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価 評価の理由 | 評価 総合評価 | 評価 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福祉サービス提供者を対象とした研修会や情報交換会を開催し、従事者間の連携強化と専門性の向上を図ることで、質の高い福祉サービスの提供につなげます。<br><br>福祉サービス提供事業者や関係機関との連携を強化し、地域課題や福祉ニーズに関する情報共有を進めることで、地域福祉を支える体制づくりを推進します。<br><br>多様化する福祉ニーズに対応するため、民間事業者や地域団体等との協働を促進し、多様な主体による福祉サービスの充実を図ります。 | 研修部会研修会(年間)<br>開催回数　2回<br>参加人数　40人<br><br>事例検討会(年間)<br>開催回数　2回<br>参加人数　40人 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 3 | (1) | 実施目標　No. | 7 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 3　ボランティア養成と活動の推進 |
| 実施目標 | (1)　ボランティアに対する関心の拡大 |
| 実施目標計画 | ボランティア活動に関する広報の実施 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | これまでボランティアに関わりのなかった人たちにも興味を持ってもらい、ボランティア活動に携わる人材を増やす取組に努める。住民のボランティアへの関心を高め、誰もが背伸びせず、気軽に、できる範囲のボランティア活動を一つでも体験できるよう、「だれもがワンボラ」を合い言葉に、継続してボランティアのきっかけづくりやボランティア活動に関する支援を進める。 |
| 主な関係事業・取組 | ①ボランティア活動に関する広報の実施、広報紙「まなぼら」の発行【地域振興課、生涯学習課、市社会福祉協議会】<br>②ボランティアセンター事業【市社会福祉協議会】<br>③共同募金配分金事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 情報誌「まなぼら」発行回数 | 4回 | 4回 | 20回 | HP・広報誌等や各種会議等の場を利用し周知することで、ボランティア活動への関心を持ち、参加の促進につながるように努めます。<br>誰もが気軽にボランティア活動に興味を持ち、参加するきっかけになるように、「まなぼら」の内容やデザインの工夫や、SNSを活用した情報発信を強化する必要があります。 |
| ボランティア入門講座　参加人数 | 19人 | 5人 | 74人 | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 | | | 評価 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 内容と成果 | 指標実績(数値) | 課題 | 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
| 広報誌やホームページ、SNS等の各種媒体において、ボランティア活動の魅力や身近な実践事例の発信を行い、ボランティアへの関心の醸成を図ります。<br><br>ボランティア活動に関する情報を積極的かつ継続的に発信するとともに、多様な活動メニューを紹介することで、誰もが気軽に参加できる環境づくりを推進します。<br><br>共同募金配分金事業を活用し、ボランティア体験や講習会等を開催し、ボランティア活動に触れる機会を創出することで、新たな参加者の拡大を図ります。 | ・まなぼら発行(年間)<br>4回<br><br>・夏休み親子福祉体験教室<br>参加者数　20名<br>《再掲》<br><br>・市民手話講習会(年間)<br>実施回数　12回<br>参加人数　240人(延べ) | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 3 | （2） | 実施目標　No. | 8 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 3　ボランティア養成と活動の推進 |
| 実施目標 | （2）　ボランティアセンターの整備・拡充 |
| 実施目標計画 | 活動拠点の活用によるボランティアの活性化や活動範囲の拡大 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | ボランティアセンター事業を行う市社会福祉協議会と市民活動支援センターとが連携し、それぞれの活動拠点を活用することで、ボランティアの活性化や活動範囲の拡大に努め、ボランティアセンター機能の整備と拡充を図る。 |
| 主な関係事業・取組 | ①ボランティアマッチング、市市民活動支援センター事業【地域振興課】<br>②ボランティアセンター事業【市社会福祉協議会】<br>③共同募金配分金事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| ボランティアセンター登録者数 | 1,294人 | 1,347人 | — | 市、市社協、市民活動支援センターの3機関の強みを活かすことができるように、引き続き情報交換や情報発信を行います。また、「市民活動ボランティアマッチング」は、昨年度に比べボランティアマッチング数や活動回数が減少したものの、ボランティア活動をしたい人とボランティアを募集したい団体の希望は継続して多い状況です。市民活動支援センターが担うボランティアコーディネーターの役割は、非常に重要であり、これまでボランティア活動をしたことのない方にとっては、市民活動支援センターが立ち寄りやすい場所となってきています。今後も引き続き、ボランティア活動が活発になるように支援していく必要があります。 |
| 市民活動ボランティアマッチング登録者数 | 個人33人　団体2団体 | 個人41人　団体0団体 | 個人301人　団体8団体 | |
| マッチングによる活動回数 | 74回 | 81回 | 410回 | |
| 新規ニーズ登録件数 | — | 5件 | 33件 | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市民活動団体とボランティア希望者をつなぐ「市民活動ボランティアマッチング制度」を運用し、多様なボランティア活動への参加促進と活動基盤の充実を図ります。<br><br>市社会福祉協議会、市民活動支援センター、ボランティア団体及び関係機関との連携を強化し、ボランティア活動に関する相談支援や情報提供の充実に取り組みます。<br><br>市社会福祉協議会及び市民活動支援センターの活動拠点を活用し、ボランティア活動に関する情報発信、交流及び人材育成機能の充実を図ります。<br><br>共同募金配分金事業を活用しボランティア活動中の事故等に備えた保険に係る費用の一部を助成するなど、ボランティア活動の活性化や活動範囲の拡大に取り組みます。 | ・ボランティアセンター新規ボランティア登録者数<br>（5年間総数）<br>100人<br><br>・市民活動ボランティアマッチング登録者数（年間）<br>100個人<br>5団体<br><br>・マッチングによる活動回数（年間）<br>50件<br><br>・新規ボランティア登録申請件数（年間）<br>5件<br><br>・新規ニーズ登録件数（年間）<br>5件 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅰ | 3 | (3) | 実施目標　No. | 9 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅰ　地域福祉を支えるひとづくり |
| 活動目標 | 3　ボランティア養成と活動の推進 |
| 実施目標 | (3)　ボランティアの養成・活動支援 |
| 実施目標計画 | ボランティア養成講座の開催と活動支援 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | ボランティアに従事する人を養成し、支援を行うことで、ボランティア活動の拡大や充実を図る。<br>地域住民がボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努めるとともに、専門性を生かした取組を行うボランティア団体等の活動に対して支援を行う。 |
| 主な関係事業・取組 | ①各ボランティア養成講座の開催【地域振興課 生涯学習課】<br>②手話・要約筆記・点訳奉仕員養成事業【障害福祉課】<br>③ボランティアセンター事業【市社会福祉協議会】<br>④共同募金配分金事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習ボランティア養成講座　参加人数 | 20人 | 16人 | 109人 | 講座への参加者を増やすため、開催方法や周知方法、時期や内容について検討し、工夫していく必要があります。<br>また、市民活動団体の基盤強化のための支援となる団体運営に関する講座を実施しましたが、情報発信、助成金に関する講座、会計に関する講座の関心が高く、継続して実施する必要性を感じました。着実に市民活動団体の基盤強化につながるよう、引き続き、ニーズに応じた内容を検討し、開催する必要があります。 |
| 市民活動団体の運営に関する講座　参加人数 | 34人 | 97人 | 344人 | |
| 市民活動に関する出前講座　参加人数 | 85人 | 160人 | 580人 | |
| 大学生などの視察、インターンシップ　受入人数 | 151人 | 4人 | 644人 | |
| 市民手話講習会　参加人数 | — | 125人 | 507人 | |
| 手話奉仕員養成講座　参加人数 | 10人 | 13人 | 87人 | |
| 音訳ボランティア講習会　参加人数 | 130人 | 46人 | 402人 | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域のニーズや社会情勢を踏まえながら内容の充実を図り、各種ボランティア養成講座を開催することで、新たなボランティア人材の養成に取り組みます。<br><br>手話奉仕員、要約筆記奉仕員、点訳奉仕員等の専門的なボランティアの養成を推進し、地域における支援体制の充実を図ります。<br><br>共同募金配分金事業を活用し、手話や音訳などの専門ボランティアの育成に向けた講習会等を開催します。 | ・生涯学習ボランティア養成講座(年間)<br>実施回数　2回<br>参加人数　30人<br><br>・市民活動団体の運営に関する講座<br>参加人数60人<br><br>・市民活動に関する出前講座　参加人数　160人<br><br>・市民手話講習会(年間)<br>実施回数　12回<br>参加人数　240人(延べ)<br><br>・音訳ボランティア養成講座(年間)<br>実施回数　20回<br>参加人数　60人(延べ) | 8 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成 | | | |
| | | | | | | 必要 | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 1 | (1) | 実施目標　No. | 10 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 1　社会資源の見直しと交流の促進 |
| 実施目標 | (1)　交流の場づくり |
| 実施目標計画 | 地域住民の集いの場としての公民館等公共施設の活用促進<br>地域交流の拠点づくりの支援と整備 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域住民が気軽に集える場として、公共施設等の社会資源を有効に活用するとともに、幅広い世代の住民や地区組織、各種団体等が、情報交換や交流、ボランティア活動の場として気軽に集える機会や拠点づくりを図る。 |
| 主な関係事業・取組 | ①学校施設開放事業【教育総務課】<br>②公民館運営業務【生涯学習課】<br>③老人憩いの家維持管理事業【高齢福祉課】<br>④介護予防・日常生活支援総合事業(通いの場の設置)【高齢福祉課】<br>⑤認知症カフェ設置事業【高齢福祉課】<br>⑥元気アップくらぶ事業【高齢福祉課】<br>⑦福祉センター運営事業【福祉総務課】<br>⑧地域子育て支援拠点事業【子育て推進課】<br>⑨地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 開放学校施設数 | | | 小学校16校、中学校10校 | 引き続き、各地域の学校施設や公民館等の開放を実施し、地域住民の交流の場を提供していきますが、参加者が固定化してきています。<br>住民主体の通いの場設置数は増加していますが、新規申請に意欲的な地域もあり、設置をより一層促進します。同時に、担い手や参加者の高齢化により、中止・廃止となるグループもあるため、既存グループが長く継続できるよう、地域やサロンの特色を考慮しながら幅広く継続的に支援を行うことが求められています。<br>また、交流の拠点として、開催方法や活動を工夫することが必要です。 |
| ふれあい・いきいきサロン登録数 | 121サロン | 137サロン | 137サロン | |
| 幸せますデイステーション設置数 | — | — | 2か所 | |
| 認知症カフェ設置数 | — | — | 8か所 | |
| 元気アップくらぶ(通いの場)設置数及び実施団体数 | 9か所　48団体 | 11か所　68団体 | 10か所　68団体 | |
| 子育て支援に関する交流拠点数 | 8か所 | 9か所 | 41か所 | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 既存施設や空き店舗等を活用して、地域住民が気軽に集い、交流できる地域の拠点づくりを推進します。<br><br>公民館や老人憩の家、福祉センター、学校等の公共施設を活用し、多世代の住民や地域団体が交流し、情報交換や地域活動を行う場の提供に努めます。<br><br>地域住民同士の交流や見守り、孤立防止につながるサロン活動等の充実を図るため、企画運営に関する助言、講師紹介、物品貸出等の支援を行います。 | サロン講習会(年間)<br>開催回数1回<br>参加人数80人 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 1 | （2） | 実施目標　No. | 11 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 1　社会資源の見直しと交流の促進 |
| 実施目標 | （2）　当事者団体への支援 |
| 実施目標計画 | 当事者団体の活動の広報及び助成、支援 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 当事者団体（高齢者、障害のある人の団体等）への人的・物的支援により、福祉活動の輪の広がり、機能の充実につなげる。家族会等の当事者団体への活動支援や地域の関係機関、団体等との連携を図り、各種活動や地域交流の場づくりを通じた情報交換の場や機会を確保し、身近な情報の共有・活用を支援する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①老人クラブ助成事業、認知症家族会支援【高齢福祉課】<br>②福祉援護団体育成費補助事業【障害福祉課】<br>③母親クラブ活動支援【こども相談支援課】<br>④子育て支援活動補助事業【こども相談支援課】<br>⑤こども食堂ネットワーク支援事業【こども相談支援課】<br>⑥こどもの居場所づくり事業【こども相談支援課】<br>⑦戦傷病者戦没者遺族等援護事業【福祉総務課】<br>⑧犯罪被害者等支援事業【福祉総務課】<br>⑨法人運営事業【市社会福祉協議会】<br>⑩障害福祉事業【市社会福祉協議会】<br>⑪共同募金配分金事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 母親クラブ活動支援クラブ数 | 6単位クラブ | 5単位クラブ | 28単位クラブ | 各団体の活動が縮小している傾向であるため、団体が活動しやすいよう、活動継続支援の強化が必要です。また、会員の高齢化、活動参加者の固定化、新規加入会員の減少が進んでいます。各団体と連携を図りながら引き続き周知を行い、新規加入希望者の紹介や活動参加者増加のための支援を図ります。いきいきシルバーふれあいスポーツ大会については、実施日が平日だと、まだ仕事をされている方が多数いるため、今後の開催曜日について検討が必要です。 |
| 子育て支援活動補助団体数 | 2団体 | 2団体 | 14団体 | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 当事者団体や家族会等の活動が継続・発展できるよう、情報提供や助言、活動支援を行うとともに、関係機関・団体との連携強化を図ります。<br><br>相談窓口や広報媒体を活用し、当事者団体や家族会等の活動に関する情報発信を行うとともに、必要に応じて相談者への紹介を行います。<br><br>当事者団体、家族会、関係機関及び支援団体との情報共有やネットワークづくりを推進し、情報交換や相互支援の機会の充実を図ります。<br><br>こども食堂（地域食堂）やこどもの居場所づくり等の地域福祉活動について、既存団体に加え新たな活動主体との連携を促進し、多様な交流や支え合いの場づくりを支援します。<br><br>各種補助制度等を活用し、当事者団体の自主的な活動及び地域交流活動を支援します。 | | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 1 | （3） | 実施目標　No. | 12 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 1　社会資源の見直しと交流の促進 |
| 実施目標 | （3）　既存の制度や人材・団体等の活用 |
| 実施目標計画 | 企業及び社会福祉法人の社会貢献への支援 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 既存制度の効果的な活用方法の検討や、分野を横断した連携の場やつながりづくりに取り組むことによって、制度の狭間に陥らない支援体制づくりや新たなサービス等を支援する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】<br>②児童福祉事業【市社会福祉協議会】<br>③地域公益活動推進協議会【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 企業ボランティアモデル事業所の指定 | 3事業所 | 1事業所 | 7事業所 | 社会貢献活動に積極的に取組む企業を応援していくため、市内の企業のボランティア活動を協議会内で情報共有するとともに情報発信する必要があります。 |
| 幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会加入の食堂運営団体数及びサポーター会員団体数 | 運営団体　12団体<br>サポート会員　15団体 | 運営団体　15団体<br>サポート会員　16団体 | — | |
| こども（地域）食堂へのボランティア派遣 | — | 69人 | 135人 | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域のニーズや課題を踏まえ、既存制度や地域資源の効果的な活用を図るとともに、地域公益活動や社会貢献活動の促進に取り組みます。<br><br>企業、社会福祉法人、NPO、地域団体等との連携を強化し、それぞれの専門性や資源を生かした地域福祉活動の推進を図ります。<br><br>企業ボランティアモデル事業所の開拓や社会福祉法人による地域公益活動の実施を支援し、多様な主体による地域課題への対応力の向上を図ります。<br><br>制度の狭間にあるような「こども食堂（地域食堂）」等の拠点に、既存の団体だけでなく、新たな団体ともつながりをつくれるようアドバイスや支援を行います。<br><br>市内の社会福祉法人で構成する市社会福祉法人地域公益活動推進協議会と市社会福祉協議会で行っている福祉教育等事業を協働で行う事により、地域住民の福祉への理解促進および学びの機会の充実を図ります。 | ・企業ボランティアモデル事業所新規登録数（5年総数）<br>5社<br><br>・地域公益活動推進協議会と協働した福祉教育の実施（年間）<br>3件 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 1 | （4） | 実施目標　No. | 13 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 1　社会資源の見直しと交流の促進 |
| 実施目標 | （4）　世代間交流の促進 |
| 実施目標計画 | 学校や保育所等での世代間交流の実施 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 豊かな知識と経験を有する高齢者の知恵や知識の伝承等、世代間や世代を越えた交流を促進する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①地域の人材を生かした授業の実施【学校教育課】<br>②三世代交流事業【高齢福祉課】<br>③保育所地域活動事業【子育て推進課】<br>④老人福祉事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R4年度数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 三世代交流事業の実施 | 15地区　74回　6568人 | 13地区　122回　6086人 | 57地区　443回　22,421人 | 各地域における世代間のつながりを深め、交流の活性化を図れるよう、地域の人材を生かした授業の実施や保育所との交流を、更に進めていく必要があります。<br>地区社協と連携し世代間交流を絶やさない工夫が必要です。 |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域における世代間交流行事や交流活動の開催を支援し、多様な世代が交流できる機会の充実を図ります。<br><br>地域の高齢者等が持つ知識や経験を生かし、学校や保育所等との交流を通じて、世代間の理解促進や知恵・技術の伝承につなげます。<br><br>地域住民、地区組織及び関係団体と連携し、世代を超えた交流や支え合いの関係づくりを推進します。<br><br>多世代が気軽に集い交流できる場づくりを進め、地域におけるつながりの強化と交流の活性化を図ります。 | ・三世代交流会（年間）<br>実施地区　15地区<br>開催回数　125回<br>参加人数　6,000人 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 2 | (1) | 実施目標　No. | 14 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 2　相談支援体制の充実 |
| 実施目標 | (1)　相談支援事業の啓発と推進 |
| 実施目標計画 | 福祉相談窓口の周知と利用促進<br>相談業務に関する情報交換会や事例検討会等の実施による相談関係機関の連携強化<br>相談従事者の資質向上のための研修会への参加 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 積極的な広報や啓発活動により様々な相談事業を紹介するとともに、不安や悩みを抱える人のニーズに適切に対応できる相談事業の充実を図る。<br>情報交換会・事例検討会の開催、専門的な研修会へ参加し、相談従事者の相談・指導能力の向上を図る。 |
| 主な関係事業・取組 | ①無料法律相談【くらし安全課】<br>②高齢者相談支援の充実、各包括支援センターとの連携【高齢福祉課】<br>③障害者相談支援の充実、基幹相談支援センター運営、相談支援事業所との連携【障害福祉課】<br>④こども相談支援の充実、こども家庭センター運営事業【こども相談支援課】<br>⑤児童福祉相談支援事業【こども相談支援課】<br>⑥こころの健康づくり事業【健康増進課】<br>⑦男女共同参画相談事業【福祉総務課】<br>⑧犯罪被害者等支援事業【福祉総務課】<br>⑨福祉総合相談窓口【福祉総務課】<br>⑩生活困窮者自立支援事業【生活支援課、市社会福祉協議会】<br>⑪生活支援事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 市無料法律相談　実施日数、相談件数 | 11日　278件 | 12日　242件 | 59日　1,336件 | 保護者、子ども、地域住民が相談窓口を知ることができるよう、引き続き、チラシやリーフレットの配布、市広報やHP、アプリ等様々な情報媒体を活用し、幅広い方への周知を行っていく必要があります。<br>相談内容がより複雑化し、多様な支援が求められてきているため、相談員は専門的・具体的な知識が求められています。継続して研修会を開催する等、相談従事者の資質向上を図っていく必要があります。 |
| 社協福祉総合相談　実施日数、相談件数 | 266日　220件 | 300日　378件 | 1,475日　1,474件 | |
| 福祉総合相談窓口　相談件数 | — | 651件 | 950件 | |
| 要保護児童対策地域協議会構成機関職員研修　実施回数 | — | 1回 | 7回 | |
| 養育支援訪問員レベルアップ研修会　実施回数 | — | 2回 | 8回 | |
| 県内CSW実践研修、子ども食堂に関するセミナー等 | 12回 | — | 25回 | |
| 母子保健推進員全体研修会　実施回数 | 1回 | 3回 | 13回 | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 誰もが必要な支援につながることができるよう、広報誌やホームページ、SNS等の様々な媒体を活用し、相談窓口や相談支援事業の周知・啓発に取り組みます。<br><br>相談者の多様なニーズに適切に対応できるよう、福祉、保健、医療、教育等の関係機関との連携を強化し、情報交換会や事例検討会を開催します。<br><br>相談支援に従事する職員や関係者の専門性向上を図るため、研修会の実施及び専門研修への参加を促進し、相談・支援能力の向上に取り組みます。 | ・母子保健推進員全員研修会(年間)<br>参加回数　3回<br>参加人数　120人<br><br>・基幹相談支援センターへの相談件数<br>令和10年度:1200件<br><br>・社協福祉総合相談(年間)<br>開催日数　毎日<br>相談件数　400件<br><br>・相談員等研修会(年間)<br>実施回数　1回<br>参加人数　20人 | 8 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 2 | （2） | 実施目標　No. | 15 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 2　相談支援体制の充実 |
| 実施目標 | （2）　地域の生活課題や住民の個別課題の把握と解決に向けた取組 |
| 実施目標計画 | 地域の生活課題や住民の個別課題の把握及び解決 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域住民を巻き込み、地域の課題を地域で解決していくための意識の醸成と支援機関との連携強化を図るとともに、地域の生活課題や住民の個別課題を発見・把握する必要があるため、地区社会福祉協議会や地域包括支援センター等による住民座談会等の開催や地域の実情に応じた年間地域福祉事業に対する支援等を行う。<br>地域住民が主体的に地域の生活課題や住民の個別課題を解決する環境を作るため、課題の解決に向けた地域住民の話し合いの場づくりを進め、地域住民等による日常的な見守り訪問活動や関係機関等との連携を図り、課題解決に向けて取り組む。 |
| 主な関係事業取組 | ①地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| CSW相談件数 | 415件 | 441件 | 2,395件 | 会議や研修会で顔の見える関係を作り、より互いに連携が図れる体制を整える必要があります。<br>CSWが地域へ出向き、地域での困りごとを聞き取りながら、課題解決に向けて、他機関と連携していく必要があります。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地区社会福祉協議会による年間地域福祉事業や住民座談会等の取組を支援し、地域の生活課題や住民の個別課題の把握及び課題解決に向けた住民主体の活動を促進します。<br><br>地域住民、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター等と連携し、地域課題や個別課題について話し合う機会の充実を図ることで、地域全体で課題を共有し解決につなげる仕組みづくりを推進します。<br><br>日常的な見守り活動や訪問活動を推進し、支援を必要とする人の早期発見及び適切な支援につなげる体制づくりを進めます。<br><br>ひきこもりや社会的孤立等の複雑化・複合化する福祉課題に対応するため、関係機関との連携強化やプラットフォーム、居場所づくりを推進します。<br><br>CSW（コミュニティソーシャルワーカー）をはじめとする地域福祉担当者が地域の社会資源や課題の把握に努めるとともに、住民同士が支え合う「福祉の輪づくり」活動を支援します。 | ・CSW対応件数（年間）<br>100件 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 2 | （3） | 実施目標　No. | 16 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 2　相談支援体制の充実 |
| 実施目標 | （3）　権利擁護体制の充実と成年後見制度の利用促進 |
| 実施目標計画 | 権利擁護にかかる制度の周知<br>防府市成年後見センター利用促進 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 福祉サービスを利用する人が、認知症等により判断能力が低下した場合でも権利が擁護される体制の充実として、日常生活自立支援事業や、成年後見制度の利用を推進する。<br>防府市成年後見センター（市社協設置）を地域連携ネットワークにおける中核機関として位置付け、成年後見制度の普及、啓発、相談を行い、市民後見人等の育成や親族後見人も含めた活動支援について体制を整備する。<br>日常生活自立支援事業の対象とはならないものの判断能力に不安があり、金銭管理が必要な人や、身元保証人が存在していないために生活等に困難を抱えている人への支援について検討する。 |
| 主な関係事業取組 | ①成年後見制度利用支援事業【福祉総務課、生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課】<br>②権利擁護事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 法人成年後見受任件数 | 6件 | 6件 | 30件 | 制度の利用を促進するため、研修会等での周知、職員の人材育成に努めるとともに、関係機関との連携も必要です。<br>成年後見センターの相談体制を強化するとともに、市民等への普及啓発をより一層進めていく必要があります。 |
| 老人福祉法に基づく市長申立て件数 | ー | 14件 | 37件 | |
| 成年後見センター運営協議会　開催回数 | 1回 | 1回 | 5回 | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成年後見制度や日常生活自立支援事業等の権利擁護に関する制度の周知・啓発を行い、利用促進を図ります。<br><br>防府市成年後見センターを地域連携ネットワークの中核機関として相談支援や普及啓発を推進するとともに、充実化に取り組みます。<br><br>市民後見人や親族後見人等の育成及び活動支援を行い、成年後見制度を支える人材の確保と支援体制の充実を図ります。<br><br>認知症や障害等により判断能力に不安のある人が安心して地域で生活できるよう、関係機関との連携を強化し、権利擁護支援体制の充実を図ります。<br><br>日常生活自立支援事業や成年後見制度の対象とならない人への支援のあり方について、関係機関と連携しながら検討を進めます。 | ・成年後見セミナー・相談会<br>延べ回数　2回<br>参加者数　80人<br><br>・法人成年後見受任件数<br>7件 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 2 | （4） | 実施目標　No. | 17 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 2　相談支援体制の充実 |
| 実施目標 | （4）　虐待防止、差別解消の取組 |
| 実施目標計画 | 虐待相談窓口の周知と関係機関の連携強化<br>防府市人権推進指針及び障害者差別解消法に基づく人権尊重意識の啓発 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 虐待の未然防止や早期発見・早期対応に向けた相談支援体制の充実や、関係機関の連携強化を図る。<br>差別を始め、様々な人権課題の解決に向けて、国や県、関係機関等と連携し、市民や事業者の人権に関する正しい理解を深めるとともに、人権尊重意識の高揚を図る。 |
| 主な関係事業・取組 | ①地域包括支援センターに高齢者虐待相談窓口設置【高齢福祉課】<br>②障害者虐待防止センター運営事業【障害福祉課】<br>③障害者差別解消法に基づく取組【障害福祉課】<br>④こども家庭センター運営事業【こども相談支援課】<br>⑤児童福祉相談支援事業【こども相談支援課】<br>⑥保健センター機能の充実【健康増進課】<br>⑦男女共同参画相談事業【福祉総務課】<br>⑧防府市人権推進指針に基づく取組【福祉総務課】<br>⑨人権学習市民セミナー等開催【生涯学習課】<br>⑩老人福祉事業【市社会福祉協議会】<br>⑪障害福祉事業【市社会福祉協議会】<br>⑫児童福祉事業【市社会福祉協議会】<br>⑬生活支援事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 人権学習市民セミナー　実施回数、参加人数 | 3回　95人 | 4回　530人 | 18回　1,334人 | 引き続き、虐待相談窓口の周知を行い、予防支援、早期対応する必要があります。また、相談対応職員の質の向上を図るための研修会等を開催したり、継続して関係機関の連携の強化を図っていく必要があります。人権尊重意識啓発のため、より広く広報に努めることが必要です。障害者差別の解消や障害の特性に応じたコミュニケーション手段の理解及び利用の促進のため、継続的に周知していく必要があります。 |
| 人権学習講演会　実施回数、参加人数 | 1回　190人 | 2回　412人 | 7回　1,283人 | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高齢者虐待、障害者虐待、児童虐待及びDV等の未然防止、早期発見・早期対応に向け、相談支援体制の充実を図るとともに、関係機関相互の連携強化を推進します。<br><br>虐待を受けた人やその家族への適切な支援を行うため、関係機関による情報共有や連携体制の強化に取り組みます。<br><br>防府市人権推進指針に基づき、人権を尊重した行政の推進、人権教育・人権啓発の推進及び相談体制の充実に取り組みます。<br><br>差別や偏見の解消に向けて、国、県及び関係機関と連携し、広報活動や講演会、セミナー等を実施することで、市民や事業者の人権に関する理解促進と人権尊重意識の高揚を図ります。<br><br>障害の有無、年齢、性別、国籍その他の違いにかかわらず、誰もが尊重され安心して暮らせる地域社会づくりを推進します。 | ・情報発信回数（年間）<br>市広報　1回<br><br>・防府市地域総合支援協議会の開催回数（年間）<br>1回 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 3 | (1) |
|---|---|---|---|

| 実施目標　No. | 18 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 3　安全・安心を守る活動の推進 |
| 実施目標 | (1)　避難行動要支援者の避難支援等の体制づくり |
| 実施目標計画 | 避難行動要支援者の把握・情報管理や提供 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 災害時の支援体制の整備、協力等、いざという時の安心づくりを進める。 |
| 主な関係事業・取組 | ①災害時要配慮者支援事業、災害時避難支援情報提供登録【高齢福祉課】<br>②災害時避難支援情報提供登録【障害福祉課】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 避難行動要支援者名簿提供の協定を締結した自治会数 | 121自治会 | 158自治会 | 158自治会 | 引き続き、地域における災害時の避難支援に関する意識の醸成を促す必要があります。<br>名簿提供の促進に併せて、地域における避難支援体制を整えることも重要な課題です。<br>また、福祉専門職と協力して個別避難計画の作成を進めます。 |
| 個別避難計画作成件数 | ― | 300件 | 300件 | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 避難行動要支援者名簿を適切に整備するとともに、関係機関や地域の支援関係者との情報共有を進め、災害時に必要な情報を迅速かつ適切に伝達できる体制づくりを推進します。<br><br>避難行動要支援者名簿情報の提供制度について、自治会、自主防災組織、民生委員・児童委員等への周知を行い、地域における支援体制の充実を図ります。<br><br>優先度の高い避難行動要支援者について、福祉専門職等と連携しながら個別避難計画の作成を推進し、実効性のある避難支援体制の構築を図ります。<br><br>地域住民、自治会、自主防災組織、民生委員・児童委員及び関係機関が連携し、平時からの見守り活動や災害時の支援体制づくりを推進します。 | ・名簿情報提供に関する協定締結(5年間)<br>170単位自治会<br>66%<br><br>・個別避難計画作成件数(5年間)<br>2,800件<br>及び<br>新規作成対象者 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 5 | （2） | 実施目標　No. | 19 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅱ　地域福祉を推進するための環境づくり |
| 活動目標 | 3　安全・安心を守る活動の推進 |
| 実施目標 | （2）　安全・安心な地域づくりの推進 |
| 実施目標計画 | 交通安全や防犯、防災等の活動支援 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 防犯等の活動を推進し、支援するなど、安全・安心な地域づくりに取り組む。 |
| 主な関係事業・取組 | ①交通安全啓発事業【くらし安全課】<br>②消費生活事業【くらし安全課】<br>③地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業【学校教育課】<br>④子ども安全安心対策事業、非行防止・環境浄化活動【生涯学習課】<br>⑤更生保護団体助成【福祉総務課】<br>⑥ボランティアセンター事業【市社会福祉協議会】<br>⑦地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 子ども110番の家登録数 | 491か所 | 526か所 | 526か所 | 引き続き、活動に対する支援を継続し、各関係機関等の更なる連携強化と活動の活性化を図ることが必要です。 |
| 青少年育成センター指導員等による巡視活動実施回数 | 月2回 | 月2回 | 120回 | |
| 警察、少年相談員及び関係団体が連携した合同巡視活動実施回数 | 月1回 | 月1回 | 60回 | |
| 消費生活に関する啓発のためのラジオ出演回数 | ― | 2回 | 14回 | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 警察、青少年育成市民会議等との連携を強化し、「子ども110番の家」の普及啓発や巡視活動、「青少年の非行防止運動」等を通じて、地域における防犯活動の推進と見守り体制の充実を図ります。<br><br>地域住民や関係団体と連携し、日常的な見守り活動や防犯意識の向上を図ることで、安全・安心な地域づくりを推進します。<br><br>市広報、市ホームページ、消費生活セミナー等を活用し、悪質商法や特殊詐欺等に関する情報提供及び注意喚起を行い、市民の消費生活に関する意識啓発を図ります。<br><br>判断力が不十分な高齢者等の消費者被害を防止するため、防府市消費者被害防止ネットワーク連絡協議会において、関係機関・団体との連携を強化し、早期発見・未然防止の取組を推進します。<br><br>市社会福祉協議会や市民活動支援センターと連携した、災害ボランティアの育成や活動支援、有事には災害ボランティアセンターの設置、運営を支援します。 | ・巡視活動の実施（年間）<br>24回<br><br>・子ども110番の家の新規登録数（5年間）<br>550ヶ所<br><br>・消費生活セミナーの開催（年間）<br>開催回数　1回<br>参加人数　30人 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 1 | (1) | 実施目標　No. | 20 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 1　包括的支援体制の整備 |
| 実施目標 | (1)　包括的支援体制の構築 |
| 実施目標計画 | 総合的な相談支援体制づくりに向けた調整と整備 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域包括ケアシステムなどを着実に進めつつ、多様なニーズを拾いあげる「全世代型・全対象型地域包括支援体制」づくりに取り組む。<br>「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する重層的支援体制整備事業を視野に入れ、包括的な支援体制として、本市が目指す地域福祉の実現に向けて、福祉総合相談窓口を中心とした本市独自の相談支援体制を充実させる。 |
| 主な関係事業・取組 | ①福祉総合相談窓口を中心とした総合的な相談支援体制づくり【福祉総務課、生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課、こども相談支援課、健康増進課、建築課、学校教育課】<br>②生活支援事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R6年度数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 福祉総合相談窓口相談件数 | 299件 | 651件 | 950件 | 複合的な課題や制度の狭間にある課題の解決に向け、福祉総合相談窓口を中心とした庁内外の関係機関と、連携の強化が必要です。<br>相談内容がより、複雑化・細分化してきているため、専門的・具体的な知識が求められています。 |
| 福祉総合相談窓口チームリーダー会議　実施回数 | 1回 | 1回 | 2回 | |
| 福祉総合相談窓口ケース会議　実施回数 | 7回 | 2回 | 9回 | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福祉総合相談窓口を、複雑化・複合化した課題を抱える市民の相談の最初の入口として位置付け、関係機関や多様な支援団体と連携しながら、適切な支援につなぐ包括的な相談支援体制の充実を図ります。<br><br>相談対応の過程で明らかになった地域課題や制度上の課題について整理・分析を行い、必要な支援体制の見直しや改善につなげることで、より実効性のある支援体制の構築を推進します。<br><br>福祉、保健、医療、介護、就労、教育等の関係機関による連絡会議等を必要に応じて開催し、情報共有及び支援方針の調整を行うことで、分野横断的な支援の強化を図ります。<br><br>重層的支援体制整備事業の理念を踏まえ、「相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」を一体的に推進し、地域における包括的な支援体制の構築を進めます。<br><br>地域包括支援センターや社会福祉協議会等との連携を強化し、地域における支援ネットワークの充実及び支援の質の向上を図ります。 | 社協福祉総合相談(年間)<br>開催日数　毎日<br>相談件数　400件<br>《再掲》 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 1 | （2） | 実施目標　No. | 21 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 1　包括的支援体制の整備 |
| 実施目標 | （2）　多様な関係機関・団体との連携 |
| 実施目標計画 | 地域とコミュニティソーシャルワーカーの協働体制づくりに向けた調整と整備<br>保健・医療・福祉関係機関との連絡会議（ケース会議等）の実施<br>NPO、市民活動団体等との連携による事業の実施<br>就労支援団体・機関との連携による低所得者、障害のある人等への支援 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 支援を必要とする人が増加し、ニーズも多様化している中、地域からの相談を受け、福祉の課題に対応していくため、コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）や、生活支援コーディネーター、相談支援専門員といった福祉の専門職を配置するとともに、制度ごとの相談支援機関の総合的なコーディネート等を行う相談支援包括化推進員を中心に、複合化・複雑化した課題等に寄り添い的確に対応する。<br>各々の専門性をいかし、多様なニーズにも対応できるよう、保健・医療・福祉等関係機関との更なる連携を進める。<br>ニーズの多様化等により、公的な福祉サービスだけでは支援ができない分野では、NPOや市民活動団体等とも連携し、支援の幅の拡大を図る。 |
| 主な関係事業・取組 | ①地域ケア会議【高齢福祉課】<br>②防府市地域総合支援協議会【障害福祉課】<br>③要保護児童対策地域協議会【こども相談支援課】<br>④子育て世代包括支援ネットワーク会議【こども相談支援課】<br>⑤地域の子育て支援団体とのネットワークの推進【こども相談支援課】<br>⑥生活困窮者自立支援事業【生活支援課、市社会福祉協議会】<br>⑦資金貸付事業【市社会福祉協議会】<br>⑧地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】<br>⑨権利擁護事業【市社会福祉協議会】<br>⑩地域公益活動推進協議会【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会加入の食堂運営団体数及びサポーター会員団体数 | 運営団体　12団体<br>サポート会員　15団体 | 運営団体　15団体<br>サポート会員　16団体 | — | ・高齢・障害・児童・生活困窮等、多様な問題を抱える処遇困難ケースが増加しており、幅広い関係機関や専門職と深く連携を図りながら対応していく必要があります。福祉に関わる支援関係機関等とのネットワークの強化・連携のため、関係機関の機能や役割を理解し、情報交換や事例検討を行う機会を継続して持つ必要があります。<br>・相談業務に携わる職員の継続したスキルアップも必要です。<br>・支援を必要とする家庭と子ども食堂や子どもの居場所がつながることができるよう、継続して連携強化や普及啓発が必要です。<br>・こども家庭センターとして、切れ目ない支援体制構築のために必要な会議を検討していきます。<br>・ひとり親の方への就労相談について、相談実績がほとんど無いため、運用方法や相談実施の継続について検討をする必要があります。<br>・障害者の就労支援のネットワークを充実させる必要があります。<br>・新たな住宅セーフティネット制度の普及、啓発の段階から、福祉部局、福祉関係者、医療関係者、不動産事業者や司法関係者といった多職種と連携し、実際に行動に移す段階にきており、継続して連携していくための関係づくり、仕組みを構築する必要があります。 |
| こども（地域）食堂へのボランティア派遣 | — | 85人 | 151人 | |
| 要保護児童対策地域協議会の開催回数 | 代表者会議、実務者会議　各1回<br>個別ケース会議　44回 | 代表者会議、実務者会議　各1回<br>個別ケース会議　39回 | 代表者会議、実務者会議　各5回<br>個別ケース会議　197回 | |
| 子育て世代包括支援ネットワーク会議の開催回数 | 1回 | 1回 | 5回 | |
| 地域福祉権利擁護事業利用者に対するケース会議 | 11回 | 29回 | 142回 | |
| 自立相談支援事業 | 相談件数　9,154件<br>相談人数　448人<br>登録人数　242人 | 相談件数　10,067件<br>相談人数　342人<br>登録人数　76人 | 相談件数　48,684件<br>相談人数　1,495人<br>登録人数　526人 | |
| 住居確保給付金事業利用者 | 54人 | 9人 | 134人 | |
| 家計改善支援事業利用者 | 0人 | 22人 | 55人 | |
| 学習支援事業登録者 | 22人 | 16人 | 89人 | |
| 居住支援事業利用者　（R3～R6事業名：一時生活支援事業） | 2人 | 2人 | 29人 | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| CSWや相談支援専門員等の専門職が、地域へのアウトリーチを通じて支援を必要とする人や地域課題の把握に努め、関係機関と連携しながら課題解決に向けた支援を行います。<br><br>相談支援包括化推進員を中心に、福祉、保健、医療、介護、就労、教育等の各分野にわたる関係機関との連絡会議を開催し、複合化・複雑化した課題に対する支援方針の調整及び支援体制の強化を図ります。<br><br>地域ケア会議、子育て世代包括支援ネットワーク会議等の既存の会議体を有効活用し、分野横断的な情報共有と連携体制の充実を図ります。<br><br>NPO、市民活動団体、子ども食堂等の地域資源と連携し、公的サービスだけでは対応が困難な課題に対して、多様な主体による支援の幅の拡大を図ります。<br><br>生活困窮者自立支援事業、資金貸付事業、権利擁護事業等の各種制度と地域の支援活動との連動を強化し、包括的な支援ネットワークの構築を推進します。 | ・子育て世代包括支援ネットワーク会議の開催（年間）<br>開催回数　1回<br>参加人数　10人<br><br>・生活困窮者自立支援事業（年間）<br>相談人数　192人<br>登録人数　96人<br><br>・自立相談支援事業（年間）<br>新規登録人数　80人 | 8 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅱ | 1 | （3） | 実施目標　No. | 22 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 1　包括的支援体制の整備 |
| 実施目標 | （3）　個人情報の保護 |
| 実施目標計画 | 個人情報の適切な取り扱いにかかる周知 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 個人情報の適切な取り扱いやプライバシーの配慮について、支援の担い手への理解を促進する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①個人情報の適切な取り扱いにかかる周知<br>【福祉総務課、生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課、こども相談支援課、健康増進課、建築課、学校教育課、市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 個人情報の適切な取り扱いについて、研修の実施等により、継続して周知していく必要があります。 |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価 評価の理由 | 評価 総合評価 | 評価 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 支援の担い手に対し、個人情報の適切な取扱い及びプライバシー保護の重要性について周知を行うとともに、研修等を通じて理解促進と意識向上を図ります。<br><br>関係機関や地域活動団体等と連携し、個人情報保護に関する共通認識の醸成及び適正な情報管理の徹底を図ります。<br><br>支援活動の実態を踏まえ、個人情報の取扱いに関する留意事項や事例等を共有し、適切な運用の定着を促進します。 | | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 2 | (1) |
|---|---|---|---|

| 実施目標　No. | 23 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 2　地域福祉サービスの充実 |
| 実施目標 | (1)　情報提供の充実 |
| 実施目標計画 | 各種事業の情報提供の充実 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 福祉への理解と関心を持ってもらうため、広報紙やホームページ等を活用し、福祉サービスや制度に関する情報等を分かりやすく情報発信する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①広報やホームページ等を活用した福祉サービスや制度の情報提供<br>【くらし安全課、福祉総務課、生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課、こども相談支援課、健康増進課、市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | HPやSNSの内容の充実を図ったり、様々な媒体を活用するなどして、継続して周知していくことが必要です。<br>各世代に適した情報発信手段が求められるため、子育て世帯向け、高齢者向け等どの世代に発信するかにより、周知方法を検討する必要があります。<br>視覚や聴覚に障害のある人に対する情報提供の方法を充実させる必要があります。 |
| | | | | |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 広報誌、ホームページ、SNS等の多様な媒体を活用し、福祉サービスや制度に関する情報を分かりやすく、かつタイムリーに発信します。<br><br>社協だよりにおいては、福祉サービスや地域で行われている活動を継続的に紹介し、地域住民の福祉への関心と理解の促進を図るとともに、相談窓口の周知強化に取り組みます。<br><br>ホームページについては、利用者目線に立った構成や情報整理の見直しを行い、必要な情報に容易にアクセスできるよう改善を進めます。<br><br>福祉制度やサービス内容について、専門用語を避けた平易な表現や図解等を活用し、誰にでも理解しやすい情報提供の充実を図ます。 | ・社協情報SNS発信件数(年間)<br>36回(R8.7月～)<br>《再掲》 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 3 | (1) |
|---|---|---|---|

| 実施目標　No. | 24 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 2　地域福祉サービスの充実 |
| 実施目標 | (2)　福祉ニーズの把握 |
| 実施目標計画 | 研修会、座談会、アンケート等の実施による福祉ニーズの把握 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域での福祉関係者合同研修会や地区座談会の開催、福祉サービス提供者との情報共有等により、住民の福祉に対するニーズを把握し、課題や問題の解決に向けた意識づくりに努める。 |
| 主な関係事業・取組 | ①各研修会や座談会、計画に基づくアンケート等の実施<br>【福祉総務課、生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課、こども相談支援課、健康増進課、市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 引き続き、小地域へのアウトリーチを行い、地域の実情や課題に合わせた支援の実施に努めます。 |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価 評価の理由 | 評価 総合評価 | 評価 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域で開催される福祉関係者合同研修会や地区座談会の実施・活用を通じて、住民の生活課題や福祉ニーズの把握及び課題解決に向けた取組を推進します。<br><br>福祉サービス提供者や関係機関との情報共有を行い、地域における福祉ニーズや課題の把握の精度向上を図ります。<br><br>地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員の定例会等への参加及び連携を通じて、地域の実情や住民の生活課題の把握に努めます。<br><br>コミュニティ・ソーシャル・ワーカー(CSW)によるアウトリーチ活動を通じて、制度の狭間にある課題や潜在的ニーズの把握を推進します。 | ・地区社協会長会議(年間)<br>開催回数　3回<br><br>・民生委員児童委員協議会理事会(年間)<br>開催回数　6回 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 2 | （3） | 実施目標　No. | 25 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 2　地域福祉サービスの充実 |
| 実施目標 | （3）　連携・協働による福祉サービスの提供 |
| 実施目標計画 | 地域における福祉サービス提供者と関係機関の連携・協働による福祉サービスの提供 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 福祉サービスの提供者や関係機関との連携・協働により、ニーズに即した福祉サービスの提供を促進する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①緊急通報体制整備事業【高齢福祉課】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 緊急通報装置の設置について、申請があってから設置工事までに約1～2ヶ月程度時間を要してしまっています。 |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価 評価の理由 | 評価 総合評価 | 評価 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福祉サービス提供者や地域の関係機関と連携し、利用者ニーズに応じた適切かつ効果的な福祉サービスの提供を推進します。<br><br>地域における社会資源の把握及び活用を進めるとともに、地域特性やニーズを踏まえた新たな福祉サービスの検討に取り組みます。<br><br>防府市高齢者等見守り活動事業協力事業者との連携を強化し、地域全体で見守りを行う体制の充実を図ります。<br><br>地域の多様な主体（行政、社協、NPO、民間事業者等）との協働により、制度サービスと地域資源を組み合わせた包括的な支援の提供を推進します。 | | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 2 | （4） | 実施目標　No. | 26 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 2　地域福祉サービスの充実 |
| 実施目標 | （4）　福祉サービスの質の向上 |
| 実施目標計画 | 福祉サービス事業者等に対する自己評価等への取組の指導 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域住民が安心して福祉サービスを利用できるよう、それぞれの福祉サービスの内容を評価することにより、福祉サービスの質の向上等を図る。 |
| 主な関係事業・取組 | ①事業者への自己評価及び公表の指導【生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課】<br>②事業者への実地指導【生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 実地指導を行った高齢者施設数 | 19事業所 | 14事業所 | 85事業所 | 今後とも継続的に実地指導を行っていくことが必要です。 |
| 実地指導を行った特定教育・保育施設等の施設数 | 11施設 | 34施設 | 131施設 | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福祉サービス事業者に対し、自己評価の実施及び評価結果の公表を促進するとともに、運営指導等を通じてサービス提供体制の適正化及び質の向上を図ります。<br><br>指導及び助言を通じて課題の把握と改善を促し、継続的なサービスの質の向上の定着を推進します。<br><br>関係機関との連携により、福祉サービスの運営状況や課題を共有し、利用者が安心してサービスを利用できる環境づくりを推進します。 | ・運営指導実施施設数（高齢福祉）<br>R８　18施設<br>R９　15施設<br>R10　16施設<br>R11　14施設<br>R12　18施設<br><br>・実地指導実施施設数（障害福祉）<br>R8　2施設<br>R9　3施設<br>R10　3施設<br>R11　3施設<br>R12　3施設 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 2 | （5） | 実施目標　No. | 27 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 2　地域福祉サービスの充実 |
| 実施目標 | （5）　苦情相談の対応 |
| 実施目標計画 | 苦情相談への適切な対応の実施 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 福祉サービス利用者の立場に立ったサービス提供体制が確保されるよう、苦情解決制度による適切な解決に努める。 |
| 主な関係事業・取組 | ①各相談窓口業務<br>【福祉総務課、生活支援課、高齢福祉課、障害福祉課、子育て推進課、こども相談支援課、健康増進課、市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 苦情相談は多様化・複雑化しており、その内容や原因を的確に把握することや、関係機関とすばやく連携することが求められます。<br>また、職員間で情報を共有し、職員のスキルアップにつなげることが必要です。 |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価 評価の理由 | 評価 総合評価 | 評価 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 福祉サービス利用者からの苦情を真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応するとともに、関係機関と連携しながら解決に努め、サービスの改善につなげます。<br><br>多様化・複雑化する苦情相談に対応するため、関係部署及び関係機関との連携を強化し、組織横断的な対応による早期解決を図ります。<br><br>苦情対応を通じて把握した課題について整理・分析を行い、再発防止及びサービスの質の向上につなげる仕組みづくりを推進します。 | | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 3 | (1) |
|---|---|---|---|

| 実施目標　No. | 28 |
|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 3　支え合いのネットワークの拡充 |
| 実施目標 | (1)　社会福祉協議会の基盤強化 |
| 実施目標計画 | 防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画に基づいた事業推進のための人材育成と他団体との連携強化 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域福祉活動の中心的な存在である市社会福祉協議会の体制や財政基盤を強化し、各地域での活動拠点となる地区社会福祉協議会の活動促進と併せて、地域福祉活動を推進する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①市社会福祉協議会への助成及び活動支援【福祉総務課】<br>②法人運営事業【市社会福祉協議会】<br>③善意銀行事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度(計画初年度)数値 | R7年度(計画最終年度)数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| 地区社協による各地域の課題に応じた研修会開催 | | | 173回 | 行政との効率的な連携を模索し、市社会福祉協議会の更なる体制強化を図ることや、様々な専門的支援ができる人材育成をする必要があります。 |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標(数値) | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績(数値) | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価 評価の理由 | 評価 総合評価 | 評価 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市社会福祉協議会の組織体制及び事業実施体制の強化を図るため、必要な財政的支援及び活動支援を行い、安定的かつ継続的な地域福祉活動の推進を支えます。<br><br>市社会福祉協議会においては、中期経営計画に基づき財務基盤及び組織基盤の強化に取り組むとともに、地区社会福祉協議会との連携を強化し、地域拠点としての機能向上及び地域福祉活動の活性化を図ります。 | ・階層別研修等の受講数<br>延べ10件<br><br>・寄付件数<br>200件<br>(エコキャップ、古切手、書き損じはがき含む) | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |

# 実施目標計画　進行管理シート

| 実施目標計画CD | Ⅲ | 3 | （2） | 実施目標　No. | 29 |
|---|---|---|---|---|---|

| | |
|---|---|
| 基本目標 | Ⅲ　誰もが安心して暮らせるしくみづくり |
| 活動目標 | 3　支え合いのネットワークの拡充 |
| 実施目標 | （2）　地域での連携の促進 |
| 実施目標計画 | 自治会単位の福祉活動の支援 |

| | |
|---|---|
| 実施目標概要 | 地域のネットワーク活動を促進するとともに、自治会単位の福祉活動が活発化するよう支援する。 |
| 主な関係事業・取組 | ①自治会の福祉活動への支援【地域振興課、市社会福祉協議会】<br>②地域福祉活動推進事業【市社会福祉協議会】 |

| 第三次計画時の項目　※数値化できる事項のみ | R3年度（計画初年度）数値 | R7年度（計画最終年度）数値 | 計画期間内累計 | 第三次計画終了時の課題等 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | 地域の福祉行事を実施する際には、単位自治会長や福祉部長の支援が必要不可欠となるため、今後も協働できる体制づくりに努める必要があります。<br>自治会連合会や単位自治会を通じて、広く地域住民に福祉サービス情報が周知されるよう、情報発信をしていく必要があります。 |
| | | | | |

| 取組計画 | 目標指標（数値） | 年度 | 実施状況 内容と成果 | 実施状況 指標実績（数値） | 実施状況 課題 | 評価 評価項目 | | 評価の理由 | 総合評価 | 協議会意見等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 研修会や説明会等の開催を通じて、自治会をはじめとする地域組織に対し、福祉サービスや地域福祉活動に関する情報を分かりやすく提供し、地域における福祉活動の理解促進と実践につなげます。<br><br>地域の福祉研修会や養成講座の開催を支援し、地域の担い手の状況把握を行うことで、小地域ごとの実情に応じた福祉活動の展開及び活動の活性化を図ます。<br><br>自治会、地区社会福祉協議会、関係機関との連携を強化し、地域内のネットワーク形成を促進することで、住民主体の福祉活動の推進を図ります。 | ・地区社協会長会議（年間）<br>開催回数　3回<br>《再掲》 | 8 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 9 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 10 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | | | | | 必要性 | | | | |
| | | 11 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |
| | | 12 | | | | 取組 | | | | |
| | | | | | | 達成度 | | | | |